

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』

連載第13回

電車が遅れる原因は「革マル派」だった！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より抜粋）

<週刊現代2006年10月16日発売号>

しどろもどろの清野社長の記者会見

「記者から『（週刊現代の）記事は事実無根なのか？』、『JR東労組という組合に問題はないのか？』と立て続けに追及された清野社長は、まさにしどろもどろ。答えのほとんどが意味不明で、『JR東日本はテロリストに乗っ取られていない』と繰り返すのが精一杯の様子でした」（10月3日の定例会見に出席した大手紙記者）

10月3日の記者会見のやりとりは以下のとおりである。

【記者】東労組という労働組合も、労働組合として問題があるものであるというふうには考えられておられないということですか。

【清野社長】うーん、あの、一つの労働組合なわけですよ。だから、それが、どうこうということは（首をかしげて）非常に、何というんですかねえ、うーん、やっぱり労働組合として向き合っていく存在の、相手であるということであり、あるいはそれ以上でもそれ以下でもないということじゃないでしょうか。

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 『電車が遅れる原因は「革マル派」だった！』 」と題するこの記事は、乗務員向けの「定時運転確保」の一斉放送に東労組が噛みついたことを取り上げている。この一斉放送はJR東日本が相次ぐ列車トラブルで乗客の怒りがピークに達した5月に打ち出した安定輸送策である。公共交通機関に与えられた至上命題は「安全運行」と「安定輸送」である。東労組は、JR西日本の脱線事故を引き合いに出し（1分30秒の遅れより命を守ることだとして）、会社に緊急申し入れた。

東労組の主張は一見、極めて真っ当なものに見えるが、果たして彼らに「安全」を語る資格はあるのか。あの三鷹電車区の佐藤久雄さんに対し、乗務中の運転席の後ろ窓に張り付いたり、対向列車からすれ違いざまにパッシングしたり、集団で信号機を隠す彼らに安全を語る資格はない。一方、会社も東労組との団交の席で「決して回復運転をあおるつもりではなかった」などと釈明、開始からわずか10日後に中止したという。

JR東日本は、東労組へ毅然とした対応を示せ！